

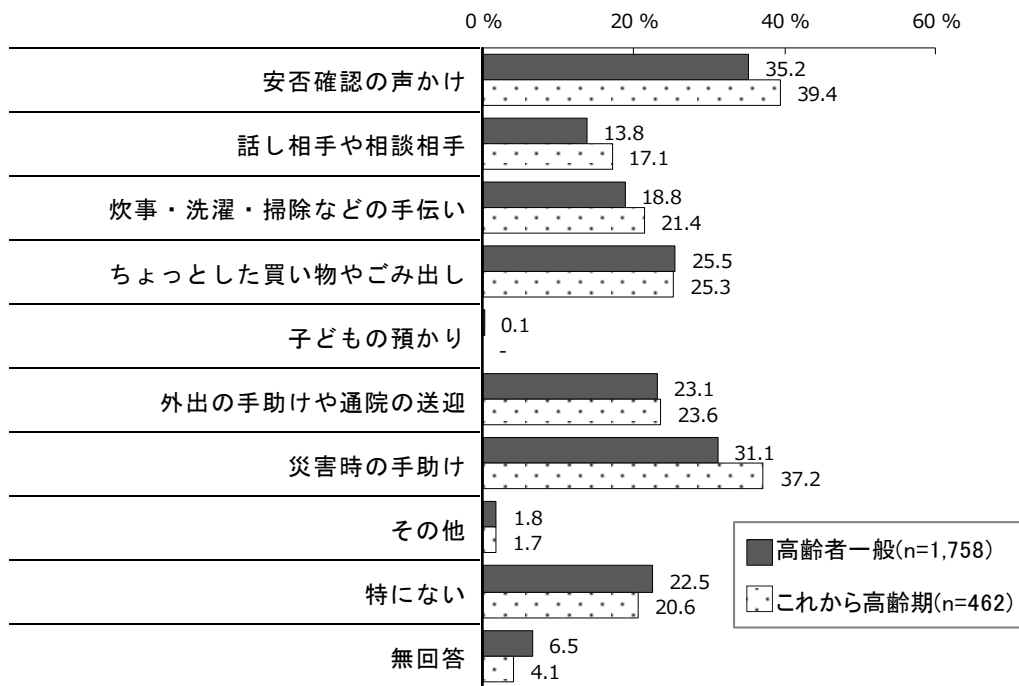
7. たすけあい

(1) 手助け

①地域の人たちにしてほしい手助け

○高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにしてほしい手助けは、いずれの調査でも「安否確認の声かけ」が最も高く、高齢者一般で35.2%、これから高齢期で39.4%、次いで「災害時の手助け」がそれぞれ31.1%、37.2%となっている。

(○は3つまで)

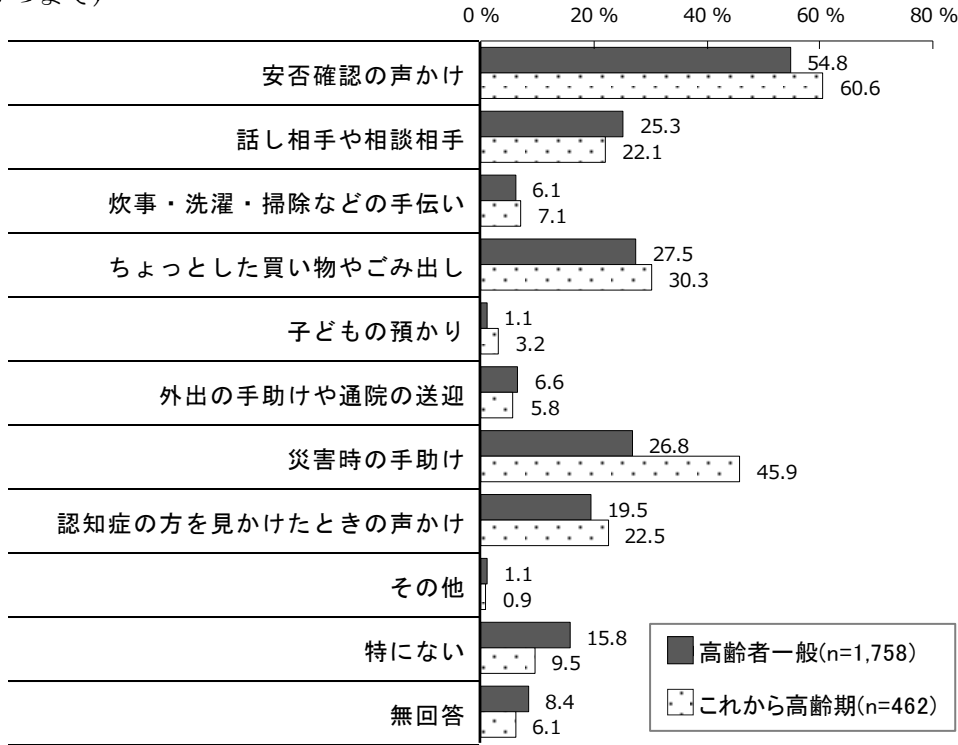


②地域の支え合いとして自身ができること

○高齢者一般では、「安否確認の声かけ」(54.8%)が最も高く、次いで、「ちょっとした買い物やごみ出し」(27.5%)の順となっている。

○これから高齢期では、「安否確認の声かけ」(60.6%)が最も高く、次いで、「災害時の手助け」(45.9%)の順となっている。

(○は3つまで)

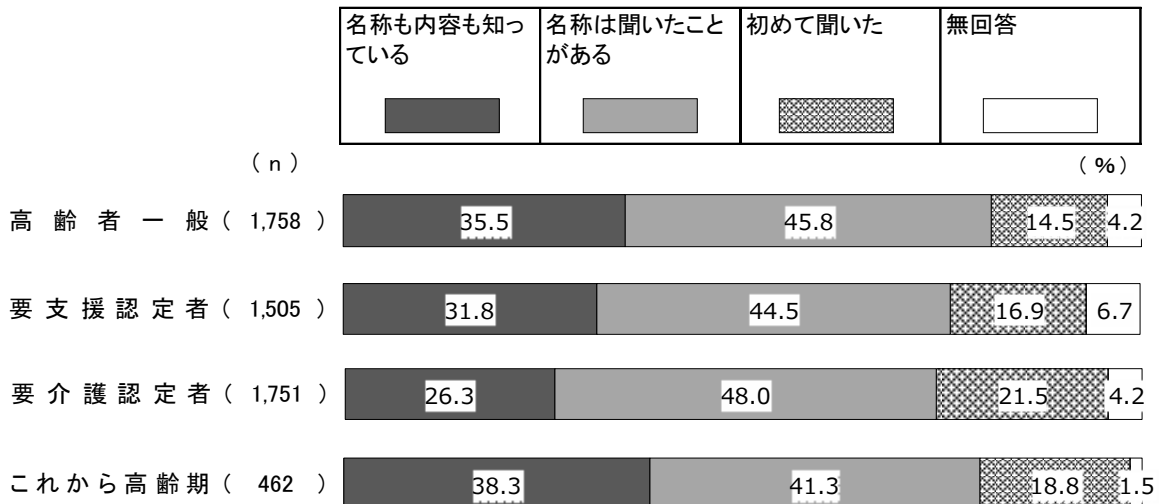


(2) 成年後見制度

①成年後見制度の認知度

○「名称も内容も知っている」は、高齢者一般で35.5%、要支援認定者で31.8%、要介護認定者で26.3%、これから高齢期で38.3%となっている。

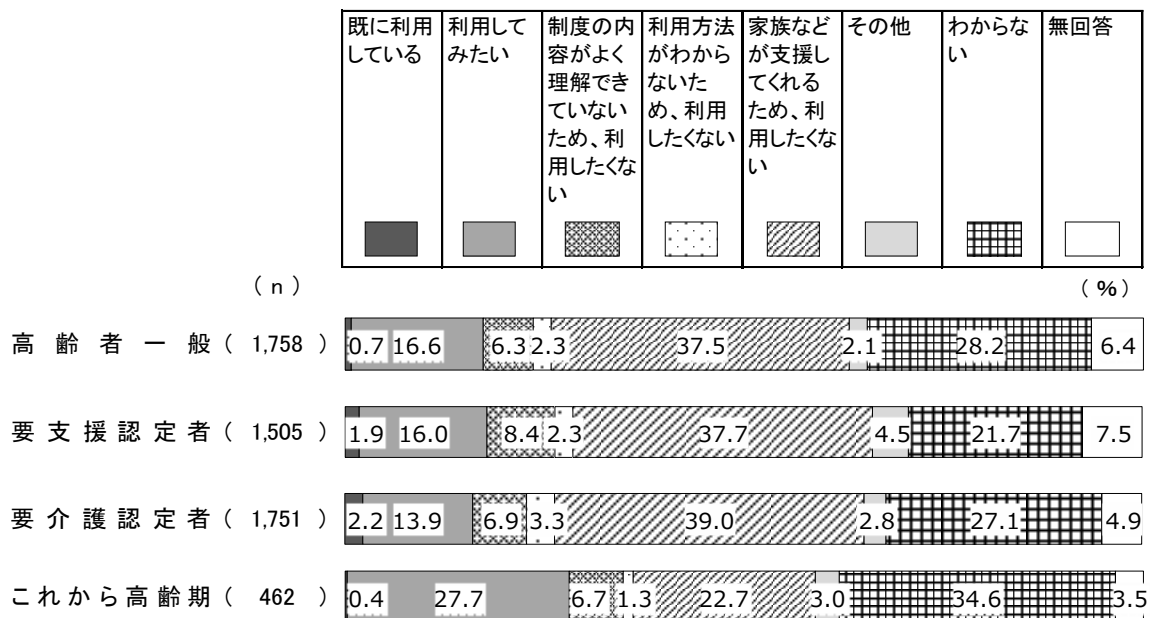
○「初めて聞いた」は、高齢者一般で14.5%、要支援認定者で16.9%、要介護認定者で21.5%、これから高齢期で18.8%となっている。



②成年後見制度の利用意向

○高齢者一般、要支援認定者および要介護認定者では、「家族などが支援してくれるため、利用したくない」が3割台で最も高くなっている。

○これから高齢期では、「利用してみたい」(27.7%)が最も高くなっている。



[成年後見制度の利用意向<子どもの有無別(高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者)>]

○子どもの有無別にみると、高齢者一般、要支援認定者および要介護認定者いずれも、「いない」は、「利用してみたい」がそれぞれ21.3%、22.5%、23.7%で「いる」と比べて高くなっている。

	n	既に利用している	利用してみたい	制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない	利用方法がわからないため、利用したくない	家族などが支援してくれるため、利用したくない	その他	わからない	無回答
高齢者一般	1,758	0.7	16.6	6.3	2.3	37.5	2.1	28.2	6.4
いる	1,358	0.5	15.5	5.4	2.1	43.8	1.8	25.0	5.7
いない	357	1.4	21.3	8.4	3.1	16.0	3.6	40.3	5.9
要支援認定者	1,505	1.9	16.0	8.4	2.3	37.7	4.5	21.7	7.5
いる	1,189	1.5	15.5	7.2	2.1	44.6	4.0	21.6	3.4
いない	240	4.2	22.5	15.8	4.2	14.2	7.9	27.1	4.2
要介護認定者	1,751	2.2	13.9	6.9	3.3	39.0	2.8	27.1	4.9
いる	1,477	1.6	12.7	6.8	2.8	43.5	2.8	27.2	2.6
いない	232	6.9	23.7	8.6	6.5	16.4	3.0	30.6	4.3